



境川水路橋と水田（戸塚区東俣野町）

- 農地の賃借料情報・事務処理状況
- 県農地等利用最適化の推進に関する意見の提出
- 農地利用状況調査の実施
- 農業委員会事務局からのお知らせ
- 委員紹介
- 横浜市からのお知らせ

## 農地法第52条に基づく農地の賃借料

10aあたりの賃借料（円／年額）

		平均額	最高額	最低額
中央 農業委員会	田	8,400	10,200	7,200
	畑	19,800	40,100	7,100
南西部 農業委員会	田	10,800	11,900	6,700
	畑	16,800	33,600	7,000

※令和2年中に利用権設定を行った賃借をもとに算出。100円未満は四捨五入。  
※別途、水利費等がかかる場合があります。

## 令和2年度事務処理状況

	耕作目的の 売買・賃借 3条許可	市街化調整 区域の転用 4・5条許可	市街化区域 の転用 4・5条届出	相続税納税猶予 ・適格者証明 (入口)	相続税納税猶予 ・利用状況確認 (20年明け)
中央 農業委員会	34件 35,833㎡	78件 64,253㎡	601件 285,686㎡	29件 130,732㎡	29件 133,476㎡
南西部 農業委員会	13件 21,329㎡	61件 49,046㎡	462件 180,205㎡	7件 72,595㎡	20件 173,759㎡

※令和2年度中に開催された総会での審議件数及び面積。  
※市街化区域の転用4・5条届出については、令和2年度中に受理した件数及び面積。

## 県農地等利用最適化の推進に関する意見を提出しました

農業委員会連合会では、両農業委員会で内容を検討した「令和4年度 県農地等の利用の最適化の推進に関する意見」について、5件の意見を取りまとめ、神奈川県農業会議に提出しました。

また、「令和4年度税制改正要望」については、3月に両農業委員会から神奈川県農業会議に提出しました。

今後、「横浜市農業施策に関する意見」についても取りまとめ、連合会から市に提出する予定です。



連合会理事会での検討の様子

### ■県農業会議に提出した主な意見

- 農作物の窃盗被害防止のため、設備設置にかかる助成金制度を設けること。
- 気象災害による農作物や農業施設への被害に対して、助成等の支援を講ずること。
- 有害鳥獣の個体数削減に向けた駆除対策、捕獲した有害鳥獣の処分に対する支援等の充実を図ること。

## 農地利用状況調査を実施します

農業委員会では、遊休農地（耕作放棄地）の解消に向けて、農地法第30条の規定に基づく農地の利用状況調査を実施しています。

今年度は5月末～11月に管内全農地の調査を実施します。調査の際、農地に立ち入る場合がありますので、ご協力をお願いします。

併せて、この機会に作付・耕うん・草刈りなど耕作地の管理徹底をお願いします。

この調査で確認された遊休農地の農地所有者に対しては、利用の意向確認や農地の耕作の再開・貸付等の指導を行います。



※平成29年度から、遊休農地の課税が強化されました。農業振興地域内の遊休農地で一定の条件に該当すると、固定資産税額が増額となる場合があります。

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、調査方法や時期を変更する場合があります。

## 農業委員会事務局からのお知らせ

### 【中央農業委員会】

事務局事務長	新任	せきね 関根	のがあき 伸昭
事務局農地係長		ふじまき 藤巻	ひでのり 秀徳

### 【南西部農業委員会】

事務局事務長		わたぬき 綿貫	おさむ 理
事務局農地係長		もとはし 本橋	けんじ 健二

令和3年4月1日付けで、中央農業委員会事務局の事務長の異動（左表の「新任」マーク）がありましたので、お知らせします。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



# 委員紹介

本農委だより第42号  
～第48号で全委員を  
ご紹介していきます。

凡例 (委員会名) 氏名  
【農】 農業委員  
【推】 農地利用最適化推進委員  
①主な営農地域 ②主な作物 ③ひとこと

## 中央 坂田 清一【農】

①青葉区鉄町  
②露地野菜、水稻、果樹  
③「浜なし」水稻、露地野菜の営農をしています。都市の優良農地を保全することは重要な課題です。遊休農地を増やさないために、地域としての取組みが大切です。地域の認定農業者として努力していきます。



## 中央 加藤 保【農】

①港北区新吉田東町  
②花き  
③私の代からシクラメンを中心とした花き栽培を始め、40年となります。横浜北部は花きで有名な地域でもあり、私も、施設380坪の中でシクラメン約40種、9,000鉢を栽培しています。都市農業の担い手の育成に努めていきたいと思っています。



## 中央 栗原 智【農】

①都筑区南山田町  
②果樹  
③私の代から浜なし栽培を始め、今は浜ぶどうを加え自宅にて直売しています。私の地域は港北ニュータウンにより一気に都市化が進んだため、農地の保全・有効利用などに農業者と共に取り組んでいきたいと思っています。



## 中央 小山 正博【推】

①港北区新羽町  
②露地野菜  
③委員1年生なので、制度や現状を勉強しながら、役回りを務めています。高齢化や担い手不足が進む中、変化していく都市農業を、どのような形で維持管理していくかを、先輩委員の方々と一緒に考えていきたいと思っています。



## 中央 齋藤 公【推】

①都筑区大熊町  
②露地野菜  
③やりがいは野菜を購入された方から誉め言葉を頂いたときです。露地野菜の対策として畝の両端と中間にマリーゴールドを植えたり、種を取って乾燥させた唐辛子を刻んで散布すると鳥害と地中からの食害が少なくなりました。



## 中央 鈴木 輝雄【推】

①神奈川区三枚町  
②露地野菜  
③神奈川区でキャベツを春と秋に共販出荷しています。廃業をすることもありましたが、いましばらく農業を続けていこうと考えております。こんな私かと思うこともございますが、よろしくをお願いします。



## 南西部 鈴木 宏【農】

①戸塚区戸塚町  
②露地野菜  
③少量多品種で年間60種類ほど露地野菜を栽培して直売しています。農業委員として、1期目で勉強になる事が多くあり、農家の高齢化の中、皆様のお役に立てればと思っています。



## 南西部 矢島 寛【農】

①栄区田谷町  
②露地野菜、施設野菜、水稻  
③私は、今回で2期目に入りました。私が担当する地区（栄区及び戸塚区）の農業者から、色々な農地の相談を受けるようになりました。これからも農地を守るために、少しでも農家の力になれるよう、頑張りたいと思います。



## 南西部 小宮 藤正【推】

①戸塚区原宿町  
②露地野菜、施設野菜、山林用苗木  
③都市農業を続けていくには、近隣住民の理解が必要です。また、これ以外にも、農業用地の荒廃を防止するために、後継者が農業の未来に明るい希望を抱くような政策が必要です。



## 南西部 金子 秀喜【推】

①瀬谷区二ツ橋町  
②露地野菜、果樹  
③2期目となりました。毎月の調査は良い勉強の場です。農家の立場は厳しく、特に市街化区域内では、相続の度に農地が減っていると実感しております。これからも、少しでも農家の力になれるよう、頑張っています。



## 平成4年指定の生産緑地で 特定生産緑地未申請の土地 をお持ちの皆様へ

特定生産緑地未申請の土地をお持ちの方には、7月中に申請書類一式をお送りします。

今回の申請受付期間（令和3年9月～10月を予定）が最後の受付となりますので、申請漏れがないよう、ご注意ください。

①

最後の申請受付期間（令和3年9月～10月を予定）に申請がない場合は、指定意向がないものとして取り扱いますので、  
その後は、特定生産緑地の指定を受けることはできなくなります。

②

特定生産緑地の指定を受けない場合、30年経過後は  
固定資産税等が農地課税から宅地並課税へ5年間で段階的に上昇します。

③

相続税等納税猶予の免除要件は、終身農地利用です。  
生産緑地の指定を外す手順をすると、  
相続税及び利子税の支払いが発生することがあります。

相続税等納税猶予と生産緑地の関係についての詳細資料は、  
こちらの二次元コードからご覧になれます



④

指定から30年経過しても、生産緑地の指定は自動では外れません。  
指定を外すには、別途手続きが必要です。

都市農地貸借法により、生産緑地を他の人に貸すこともできます。手続きについては農政事務所にご相談ください。

個別相談も随時承りますので「必ず事前に電話でご予約の上」  
所管の農政事務所にご来庁ください。

### 環境創造局 北部農政事務所

☎ 045-948-2479

(FAX) 045-948-2488

#### 【生産緑地所在】

鶴見区、神奈川区、保土ヶ谷区、旭区、  
港北区、緑区、青葉区、都筑区

### 環境創造局 南部農政事務所

☎ 045-866-8492

(FAX) 045-862-4351

#### 【生産緑地所在】

中区、南区、港南区、磯子区、金沢区、  
戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区

問合せ：環境創造局 農政推進課 生産緑地担当 ☎045-671-2726 (FAX)045-664-4425

### 📷 表紙写真について（水道局施設部建設課 提供）

写真撮影スポットとして人気の高い境川水路橋は、現在、耐震補強工事中です。

水路橋周辺に広がる水田の一角で、2020年に酒造好適米「五百万石」が試験栽培され、収穫された酒米を一部使用した、日本酒が製造されました。今年も酒米の試験栽培を実施しています！